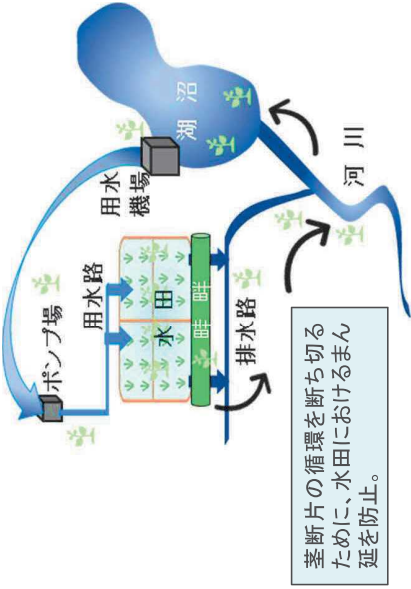


- ナガエツルノゲイトウはかんがい用水等を経由して水田に侵入し、水田で発生した茎断片が流出し流域内を循環する。茎断片の水田への侵入と水田からの流出を防止する。



茎断片の循環を断ち切るために、水田におけるまん延を防止。

水田に侵入させない



給水栓の口に収穫ネットを被せ流入を防止



農機に付着した茎断片が拡散しない作業手順の工夫（未発生ほ場→多発ほ場）。機械洗浄の励行

水田から流出させない



田植え前の落水時、水尻にザル等を置いて茎断片の流出を防止



機械除草は茎断片の水田への飛散、水路への落下に注意

除去したナガエツルノゲイトウは水気を切り、ゴミ袋に入れ固く口を結び焼却処分



水田や畦畔でまん延させない



畔塗りにより茎断片が畦畔に埋め込まれる。畦畔際の水田は除草剤による防除が効果的



防草シート（遮光率100%）による畦畔の被覆や、秋耕と降霜による茎断片の枯殺法も試験中

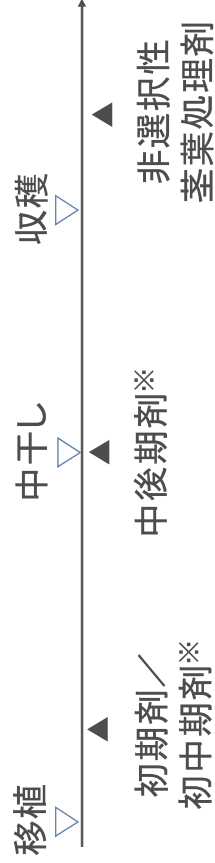
農薬を使った防除（本田・畦畔）

本田

- 都道府県の防除指針に基づき、水稻用除草剤の体系処理（初中期剤と中後期剤）を行う。
- まん延ほ場では収穫後の非選択性茎葉処理剤の散布（グリホサート・カリウム塩液剤等）も効果的。



イネに覆い被さり、収穫不能に追い込まれたまん延ほ場



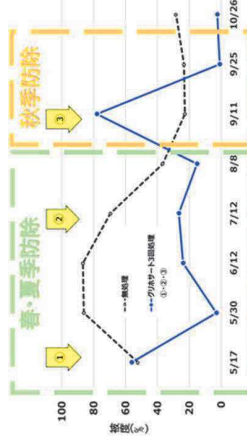
※ 現在、より効果的な成分や散布時期について試験中

畦畔

- 刈り払いではなく、非選択性除草剤※を活用して防除する。グリホサート・カリウム塩液剤は秋季の散布（降霜の前まで）が効果的。



侵入地点となる水口付近を丁寧に防除



グリホサート散布後のナガエツルノゲイトウの被度の推移 (実線)

注意

除草剤はラベルの表示(適用場所、使用量、散布回数など)を熟読して使用すること。河川や湖沼に流出するおそれのある場所(河川敷や水路など)では使用しない!



水上の群落には除草剤を散布しない